

# 青木繁「海の幸」オマージュ色紙展

～チャリティ・オンライン展覧会～ 2020.12.28 ～ 2021.2.28

【開催概要】 青木繁「海の幸」記念館の管理運営の一助として、全国の美術家の皆様のご協力により企画され、コロナ禍のためオンライン開催となりました。ぜひインターネットでご鑑賞下さい。**販売代金は各1万円**（額なし）です。会期終了後、複数希望者が重なった場合は抽選で購入者を決定しお知らせしますので、**希望作家名を第三順位まで**ご指定のうえ、住所・氏名・連絡先をメールまたはFAXにてお申込み下さい。精算は、作品発送時に振込伝票を送付しますのでご入金をお願いいたします。

メール [awabunka.npo@gmail.com](mailto:awabunka.npo@gmail.com) TEL&FAX:0470-22-8271

(作家名 50 音順・敬称略)



秋山 巖

「雪ふりしきる(山頭火)」



小川 幸治

「上野の櫻」

～青木の学んだ上野～



狩野 裕子

「夕日」



川村 良紀

「海が見えた」



櫻井 孝美

「富嶽・暁」



佐藤 一郎

「櫻花」



須藤 美保

「ストック」



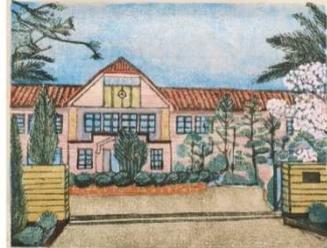
梶崎 重視

「犬吠晨」



福田 玲子

「花咲カニ」



松川 佐世子

「母校・安房南高校」



松田 圭人

「ゆかたの女」



光行 洋子

「コンポジション」



山口 マオ

「マオ猫のいる海の幸」



吉武 研司

「太陽のように 2019」



渡辺 徳子

「孤島」

締切 2/28



<https://awa-ecom.jp/aoki-shigeru/>

料金後納

ゆうメール

NPO フォーラムだより No.94  
送付状 (2021.1.25)

NPO 法人安房文化遺産フォーラム  
〒294-0045 館山市北条 1721-1

『ちばー教育と文化』誌 No.96 寄稿

## 『ちば』と歩んだ私の半生と近況

愛沢 伸雄

36年にわたり、千葉県の教育と文化に寄与された貢献に敬意を申し上げます。貴誌創刊5年後の1989年より、私は安房地域の戦争遺跡を教材化するために調査研究を始め、1996年から里見氏稲村城跡を保存する会を発足しました。

戦争遺跡は15年を経て2004年に館山海軍航空隊赤山地下壕跡が整備・公開され、館山市指定史跡となりました。里見氏稲村城跡は17年の市民運動の末、2012年に「里見氏城跡群」として南房総市の岡本城跡とともに国指定史跡となりました。さらに、青木繁が滞在し『海の幸』誕生の家となった小谷家住宅（館山市指定有形文化財）、小高記念館（国登録文化財）、小原家住宅（国登録文化財）など、私たちの活動を通じて、多くの文化遺産の価値が認められるようになりました。

この間、2004年にNPO法人安房文化遺産フォーラム

を設立し、有形無形の多様な文化遺産を「館山まるごと博物館」ととらえ、市民が主役のまちづくり活動を進めてきました。『ちばー教育と文化』誌は、市民が声を上げる発表の場として提供され、私たちの活動は支えられました。改めて感謝申し上げます。

さて、私ことですが、一昨年夏、心筋梗塞を起こして死線をさまよい、バイパス手術で命が救われました。その後、「頸椎後縦靱帯骨化症」という難病が発覚し、昨年夏には首の手術をしました。現在は自宅療養をしながら、無理のない範囲で調査研究を続けています。

一昨年の台風災害に続き、新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため、NPOの運営は大変厳しくなっています。闘病中の私の分まで、次世代の専従メンバー2名ががんばってくれています。本誌を通じてご縁が繋がった皆様も、ぜひ収束後には館山のスタディツアーを企画して訪問いただき、またNPO会員となってご支援いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

(NPO法人安房文化遺産フォーラム代表)

